

産科だより

先日、うれしいニュースを見つけました。

「日本は世界で一番赤ちゃんが安全に生まれる国」とユニセフが発表したというもの。新生児の死亡する割合が最も低い国の第1位として日本があげられており、1111人に1人という割合です。2位はアイスランドで1000人に1人、3位はシンガポールで909人に1人。日本の新生児死亡率が低い理由として、「リスクの高い妊娠や、さまざまな問題を抱えた赤ちゃんのケアに日々懸命に向き合っている多くの医療従事者の存在があるからこそであり、日本は数十年かけて「赤ちゃんの命を守るために必要な要件」を整えてきた。」と記述されていました。確かに終戦直後は非常に死亡率が高かったですが、医療器具の進歩、ガイドラインの策定、新生児蘇生法普及事業などにより死亡率を急速に減少させてきました。私達助産師もガイドラインなどを日々読んで学習を重ね、さらに、日々の経験から学べることをプラスし、より適切なケアが提供できるよう頑張っています。また、さらにたくさんの赤ちゃんが元気に過ごせるようにもつと頑張らないといけないなと感じるニュースでした。



◆沐浴指導について
今回は当院で行っている沐浴指導についてです。

当院での沐浴指導は見学指導になります。その時に入院している赤ちゃんをモデルにさせていただきます。行政などで行う母親学級などでは沐浴の仕方を教えてくれるところもありますが、多くは人形になります。人形は動かないし、軽いですが、実際の赤ちゃんはびっくりして泣くこともあるし、動くこともあるし、石鹸で滑るし・・・。なかなか難しいです。そのため、当院では実際の



赤ちゃんを沐浴して気付くポイントを説明しながら行っていきます。写真や動画も撮るママもいますしお湯の温度を実際に触って確かめるママもいます。大事なわが子を安全に沐浴する為に必死なママたちの姿をみるととても頼もしく感じます。経産婦さ

んでも、数年ぶりだとやり方を忘れてしまつて、参加される方も少なくありません。ぜひ積極的に参加して、おうちで楽しい沐浴タイムを過ごしてほしいものです。ちなみに有料になりますが、個別で行うこともできます。30分程度時間をかけて、助産師が付き添いで行います。「夫にも覚えてもらいたい」「実際に私もいれて、しっかり覚えたい」という方、ご相談下さい。

◆今月の赤ちゃん

沐浴の話に続き、今回は沐浴中の赤ちゃんです。沐浴好きの赤ちゃん多いですね。やっぱりお腹にいたときに羊水の中にぶかぶか浮かんで過ごしていた名残なのかな。最初は驚いて泣くけれど、だんだんと静かにうっとりしていきます。沐浴中は表情豊かでも可愛いですよ。



◆編集後記

6月からベビーマッサージを始めようと企画中です。担当は高野助産師。詳細が決まりましたら、ホームページに掲載します。興味がある方は是非参加してみてください。赤ちゃんと一緒に楽しい時間が過ごせますよ♪

担当 郷原